

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	15	利用者の方の高齢化や重度化に伴い、集団的な活動になりがちな傾向にある。(行事や外出は企画しているが個々を重視したものは少なくなりつつある)	・集団的な行事、活動に留まらず利用者の方個々の馴染みの人や場所との関係性が途切れないように普段のお話の中からお聴きすることで把握し、外出等に取り入れていく。	・普段の関りやお話の中で馴染みの人や場所、思い出などお聴きし、スタッフ内で共有する。 ・アセスメント、ケアプランに記入し活動に取り入れていく。(活動中、活動後のご本人の様子等は的確に記録に残し共有していく)	6か月
2	13	コロナ感染の流行移行、同業者同士の交流やネットワーク作りも消極的になって来ている。勉強会、研修も必要な物だけにとどまっている傾向にある。	・施設外研修(集団、WEB)、勉強会、へ積極的に参加する。施設内研修も適宜行っていく。 ・同業者とのつながりやネットワークも大切にし、交流会等行っていく。	・研修については職員の希望等を聴きながら企画したり、案内等を適宜回覧し、積極的に参加できるよう努める。 ・同業者と連絡を取り、交流会、勉強会等の企画を立てていく。	12か月
3	3	2か月に1度の運営推進会議について報告事項等毎回報告しているが、内容が毎回同じになってきている。	・適宜参加者を変更したり、報告内容についても検討し幅広い意見をサービスに反映できるようにする	・いつも同じ職員の出席でなく他職員も出席できる機会を作る。 ・利用者の方やご家族様の参加も検討していく。 ・報告内容がマンネリ化しないように検討していく。	12か月
4	25	災害時に近隣の企業様より協力をして頂ける災害時支援体制連絡会という協定を締結した。顔合わせや連絡会を行っているが、具体的な訓練はまだ行えていない。	・協定書の締結で安心せず、日頃の訓練や連絡会を適宜開催し、まさかの時に慌てず行動できる様にしていく。	・避難訓練の際に参加して頂き、施設内の設備や入居されている方の様子など把握して頂く。 ・新たに、災害時備蓄倉庫を設置したため、避難所への運搬の際にスムーズに進むように情報の共有をしていく。	6か月
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。